



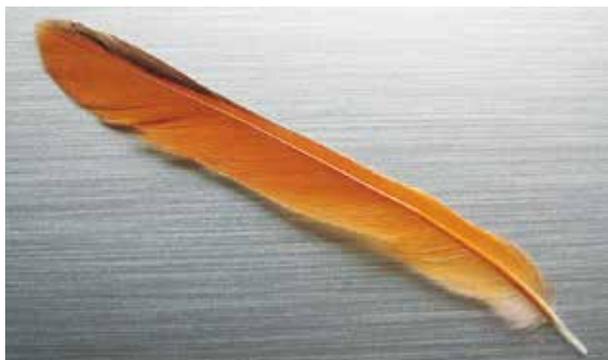
ムクドリ <留鳥>

全身が黒っぽい灰色で顔が白く嘴と脚はオレンジ色です。キュルくちばし、リャーリャーあし、ジャージャーなどと鳴き、夏の終わりから冬には大群を作りねぐらをとりついたりします。

平地

1枚の羽根から

コラム



道ばたで鳥の羽根ひろを拾うことがあります。1枚の羽根から持ち主を想像してみましょう。この羽根は軸じくの左右の幅が大分違います。これは翼の先端近くにある初列風切羽根しよれつかぜきりといて、鳥が飛ぶ時に前進するための部分です。全体的にオレンジ色っぽい色をしていて、一部が濃い茶色になっています。羽根の長さは70mmありました。

この羽根の持ち主はジョウビタキで、体の大きさはおよそ140mmになります。羽根を拾った季節や環境、模様や羽根の長さから予想できる体の大きさなどをヒントに、持ち主を想像してみましょう。